

重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

本年度の重点目標「気付き、考え、表現できる子供の育成」

- **考える子**
目当てをもって授業や家庭学習に取り組んでいる。(児童・保護者・教員アンケート) 90%以上
自分の考えを発表したり、ノートに書いたりしている。(児童・教員アンケート) 90%以上
- **思いやりのある子**
友達のよさを見付けて伝えている。(児童・保護者・教員アンケート) 90%以上
「あったか言葉」を使っている。(児童・保護者・教員アンケート) 90%以上
- **健やかな子**
目当てをもって運動や体育の授業に取り組んでいる。(児童・保護者・教員アンケート) 90%以上
自分の食習慣や睡眠についてよりよいものにしようと努めている。(児童・保護者・教員アンケート) 90%以上

前年度

前年度は、「自己肯定感の向上」(自他のよさを表現できる子の育成)を目指して、「真剣に本を読む子」「『おはよう』『はい』『ありがとう』が言える子」「友達のよさを見付けて表現できる子」という3つの子供像の実現に向けて取り組んできた。
朝読書が習慣化し、落ち着いた一日の始まりを迎える様子がみられたこと、「『おはよう』『はい』『ありがとう』が言える子」に関してもほぼ目標を達成したことは、一定の成果が認められる。
一方、学習や学校行事において、まじめに取り組むものの受動的であったり、子供同士の行き違いが要因のトラブルが起こったりするなど、自ら考え、判断することなく行動する傾向にあることが課題と考えられる。そこで今年度は、重点目標を「気付き、考え、表現できる子供の育成」とし、学校や家庭での生活の中で主体的に学んだり生活したりする姿を目指して指導していきたい。

行動Ⅰ

考える子を目指して

- ① 課題意識をもち、主体的に追究することを目指した授業づくり
- ② 目的を明確にした書く活動や話し合い活動の工夫
- ③ 学ぶ喜びや自己の変容が実感できる振り返りの場の工夫
- ④ 自ら計画し実践する家庭学習の推進

思いやりのある子を目指して

- ① 好ましい人間関係づくり
 - ・構成的グループエンカウンター
 - ・友達のよさを見付け伝え合う活動
- ② 児童会による取組
- ③ 人の役に立つ活動、支え合う活動の推進
 - ・福祉施設訪問
 - ・レインボーファミリー活動

健やかな子を目指して

- ① 目当てをもって運動に取り組むための考える場の工夫
- ② 自分のよりよい生活を目指して、自ら考え、実践する力を養うための授業づくり

中間評価

- 中間評価
 - ・アンケート形式による、児童評価・保護者評価・教員評価を行う。
 - ・アクションプラン2部会(学習・生活)において活動内容を企画・運営する。
 - ・アンケート結果やアクションプランに関わるデータを分析し考察する。さらに、対策を練り、職員会に提案する。
 - ・分析結果及び対策を職員会で検討し、プランの見直しや具体的な改善策を検討する。
- 公開について
 - ・取組や達成状況・課題・今後の取組等をホームページ・学校便りに掲載する。
 - ・学校評議員会で説明し、意見交換を行う。(第1回：6月、第2回：11月、第3回：2月)

行動Ⅱ

※ 中間評価結果を受けて、具体的な取組や達成目標を見直し、検討する。

年度末評価

- 年度末評価
 - ・2部会において、年度末評価結果の分析を行う。また、分析結果を基に、次年度に向けて対策を練り、職員会議で検討する。
- 公開について
 - ・取組や達成状況・課題・今後の取組等をホームページ・学校便りに掲載する。

次年度

・各種調査やアンケート結果の分析を基に、次年度目指すべき方向を明確にし、重点目標を設定する。